

大規模土地開発構想についての意見書

令和8年9月28日

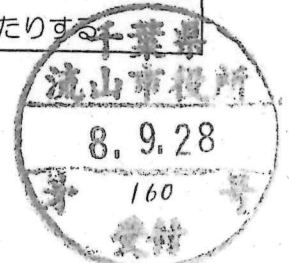
住所

氏名

他33名（連絡先別紙のとおり）

大規模土地開発構想について、次のとおり意見書を提出します。

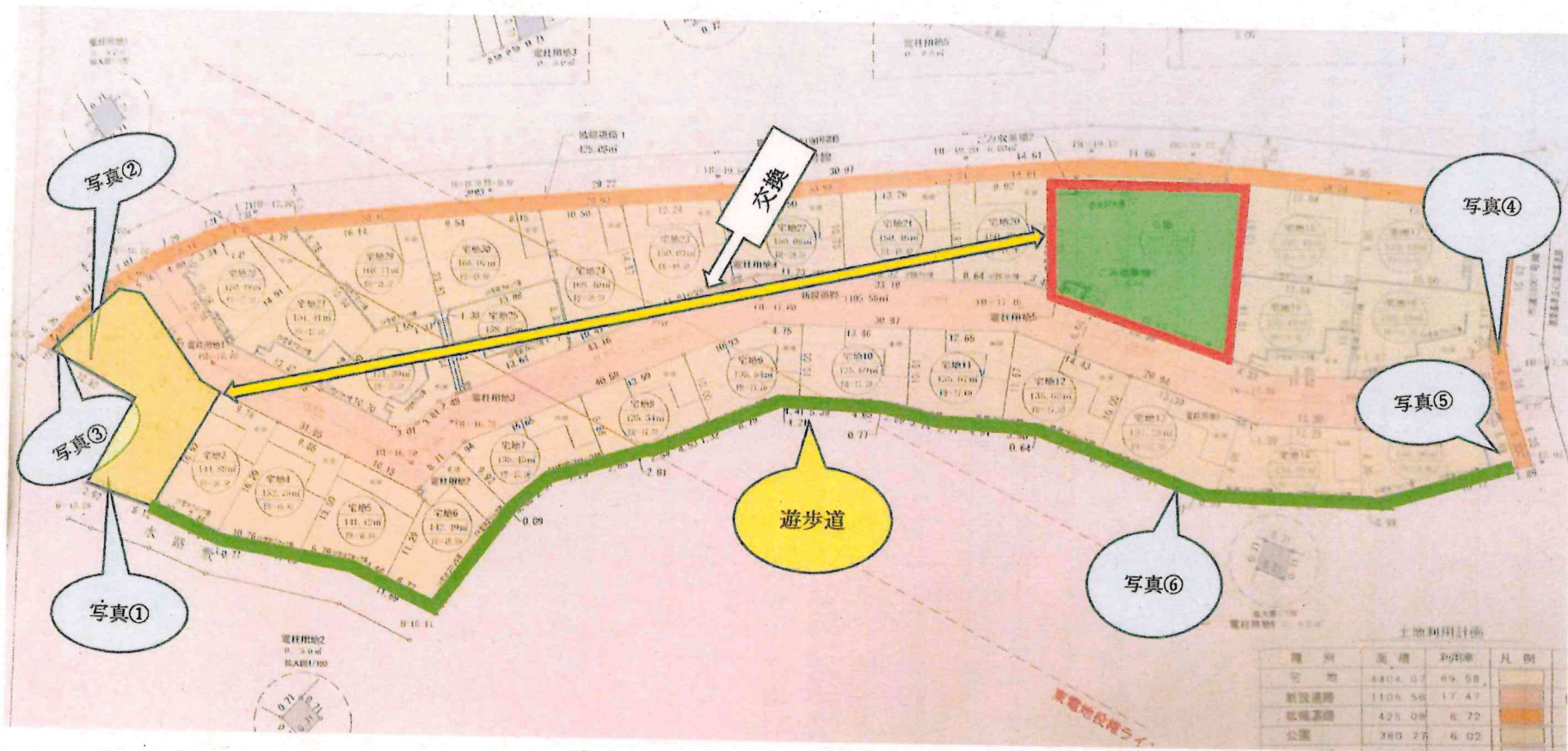
大規模土地開発行為者の氏名等	株式会社 エスディー・コーポレーション 代表取締役 綿貫 亮 住所：千葉県柏市豊上町13番1号 電話：04-7142-1180	
大規模土地開発行為を行う区域	流山市駒木字西新請651番1、651番2、651番3	
大規模土地開発構想に対する意見及び理由	意見1	既存住宅境界部分に緑地帯及び遊歩道を設置すること。 ①「土地利用計画図」中の公園エリアと宅地1、宅地2エリアの場所を交換し、既存住宅境界部分に緑地帯を設置すること。 ②近隣住宅との境界に遊歩道（幅1.5m）を設置すること。
	理由	本計画地は長年豊かな森に囲まれ、地域住民の生活環境の基礎、憩いの場として愛されてきた。多数の近隣住民が、この森が入居の決め手になったと言っている。本計画地は隣接する既存住宅地と大きな高低差があり隣接家屋を見下ろす形で住宅が建設される。プライバシーを守り、圧迫感を緩和するため、少しでも隣接家屋との距離をとり、今後開発区域に入居する住民との対立を避けるために重要な事項。
	意見2	工事期間中の安全確保及び生活環境に十分配慮すること。 ①工事車両の運行にあたっては通学路・生活道路を十分に配慮し、運行禁止や主要交差点への誘導員の配置を徹底すること。 ②工事期間中、工事による被害が発生した場合は速やかに保障、修繕を行うこと。
	理由	本計画地に至る道路は狭く、交差点も多く見通しが悪い。一般車両の通行も多く、小学生の通学路となっていて、工事車両が通行すれば極めて危険である。
	意見3	大雨時に開発区域道路から流れ落ちる大量の雨水の排水対策に万全を期すこと。
	理由	開発区域の両サイドは高低差があり、大雨時に道路から流れ落ちる大量の雨水で水溜まりができたり既存住宅周辺道路に水が溢れたりする



意見書提出者の氏名、連絡先

	氏 名	住 所
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		
11		
12		
13		
14		
15		
16		
17		
18		
19		
20		
21		
22		
23		
24		
25		
26		
27		
28		
29		
30		
31		
32		
33		
34		

要望事項説明用写真



本計画地の現状写真(2026/8/27 撮影)

写真①②: 家屋に接する緑地。周囲を高い擁壁に囲まれてしまう。



写真③: 雨水が流れ落ちる坂道



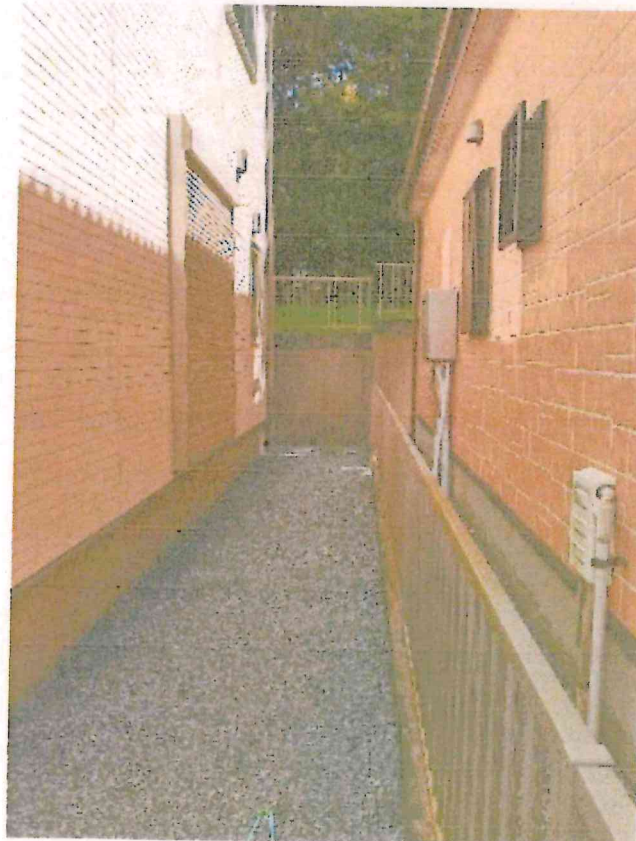
写真④: 雨水が流れ落ちる坂道



写真⑤:隣接住宅と計画地との境界



写真⑥:擁壁の高さは1階の半分程度ある



写真①: 9/21 大雨時に出現した池(9/22 撮影)



進入禁止対策後(9/23 撮影)



写真④: 9/21 大雨時に道路から流れ落ちた雨水であふれた住宅地(9/22 撮影)

